



つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 67号 2010.5.28 発行 社会政策研究所

=====

大阪市平野区のアトリエ インカーブから便りが届きました。そして、障害者アートを支援する大阪府の取り組みです。大阪手をつなぐ育成会もこの障害者アートの発掘や販売支援の検討に参画してきています。【kobi】

みなさまへ

アトリエ インカーブよりお知らせです。

初夏の風薫る6月の京都に、アトリエ インカーブ専門の商業ギャラリー「ギャラリー インカーブ | 京都」がオープンします！

記念すべき初回展覧会は、『Draws and Flows SHINKI selected by Takahiro Okazawa』ファッションデザイナーの岡沢高宏氏をゲストキュレーターに招きました。

岡沢氏は、躍動感溢れるファイターを描くアーティスト新木友行の作品を、独自の視点でセレクト。展示構成も手掛けました。

会期は6月5日(土)-7月25日(日)

オープニング・レセプション(6月5日/18:00-20:00/ご予約不要、参加費無料)では、新木友行と岡沢高宏が在廊します。土・日曜日だけのオープンですが、みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

詳しくは「ギャラリー インカーブ | 京都」のホームページをご笑覧ください。

<http://g-incurve.jp>

京都では7月に祇園祭が催されます。情緒溢れる祭事とともに、ぜひギャラリーにもお立ち寄りくださいませ。

[開催概要]

●展覧会タイトル: Draws and Flows SHINKI selected by Takahiro Okazawa
(アーティスト: 新木友行 Tomoyuki Shinki)

(ゲストキュレーター: 岡沢高宏 Takahiro Okazawa)

●会期/開廊時間: 2010年6月5日(土)-7月25日(日)

土・日のみ開廊/12:00-19:00

(オープニングレセプション: 6月5日(土)18:00-20:00

予約不要、参加費無料 新木友行と岡沢高宏が在廊します)

●場所: ギャラリー インカーブ | 京都

〒604-8824

京都市中京区壬生高樋町 60-18 (四条七本松 下ル 仏光寺通 東入 北側 四軒目)

google Map

<http://maps.google.co.jp/maps/ms?ie=UTF8&hl=ja&hq=google&hnear=&brcurrent=3,0x0:0x0,0&vps=1&jsv=237a&oe=UTF8&msa=0&msid=102420273965293238215.000483a43891ebf7213b8>

お友だちへのご紹介も大歓迎です！どうぞよろしくお願いたします。

- アトリエ インカーブ E-MAIL info@incurve.jp URL <http://incurve.jp>
〒547-0023 大阪市平野区瓜破南 1-1-18 TEL 06-6707-0165 FAX 06-6707-0175
- ギャラリー インカーブ | 京都 E-MAIL info@g-incurve.jp URL <http://g-incurve.jp>
〒604-8824 京都市中京区壬生高樋町 60-18 (四条七本松下ル仏光寺通東入北側四軒目)
TEL/FAX 075-200-4797

障害者アート、大阪府が販売支援...「作家にお金」仕組み作り



自由な発想で創作活動に励む寺尾さん(大阪市平野区のアトリエインカーブで) = 泉祥平撮影

大阪府は今年度、障害者の芸術的才能を発掘し、作品の販売を支援する取り組みを始める。絵を描くなど、施設で創作活動を行う障害者は多いが、作品を評価し、商談にこぎつけるには施設職員らだけでは難しい場合が多いため。自治体では全国でも例のない試みで、橋下徹知事は「作品が売れ、作家にお金が行く仕組みを」とする。

府がモデルにしたのは、知的障害者施設「アトリエインカーブ」(大阪市平野区)。美術系大学を卒業し、社会福祉士の資格を持つスタッフらのサポートで、利用者27人が自由に創作活動に励み、作品はインターネットや海外のギャラリーで販売している。

その一人、寺尾勝広さん(50)は、10年前に創作活動を始めた。鉄工所の溶接工だった経験を生かし、緻密な線や記号を図面風に描く作風は人気があり、380万円の値が付いたものも。「絵さえ描ければ、正月も盆もいらぬ」という。

府が2009年に府内の障害者福祉施設を対象に行った調査では、回答があった施設のうち7割で、授産活動の一環や休憩時間中に何らかの創作を行う利用者がいた。しかし、欧米に比べると、障害者の芸術作品を取引する土壌がないことから、多くが趣味で終わっているという。

府は今年度、NPOとも連携し、障害者の作品を扱う画廊を開拓したり、企画展を開いたりして、才能の発掘とPRを行うとともに、販売や契約の代行、著作権擁護などのシステム作りを進める。予算の900万円は、全額を企業などからの寄付で賄う予定。11年度から障害者を登録し、本格的に販売を始める方針だ。

アトリエインカーブを運営する社会福祉法人「素王会」の今中博之理事長は「障害者の作品を現代アートとして認知してもらうのに、いいきっかけになる。しかし、例えば心の中に無理やり踏み込んでこられて、知的障害者が絵を描くのをやめてしまう可能性もあり、健常者の何倍も時間をかけて意思疎通しなければならない。そういうノウハウを持ったスタッフを充実させる必要がある」と話す。

(2010年5月25日読売新聞)

たまには太陽の子・手をつなぐ、たまにはつなぐちゃんベクトル、たまにブログたまにはチェック



大阪市天王寺区生玉前町 5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行